

◇学校沿革史の概要◇

本校は、伏見区のほぼ中央に位置し、東に桃山の丘を望み、西に東高瀬川、南に宇治川が流れています。

校区には、区役所、保健所などの行政機関や銀行等の金融機関が多数あり、大手筋などのにぎやかな商店街を校区に含んでいます。小学校に隣接して幼稚園と中学校、児童館が建っています。

明治5年に尾張藩邸の跡に建てられ、校内に江戸時代の道標があるなど、歴史と伝統のある学校であり、校内にも昔から酒造りに使われていた伏見の名水が出る井戸があり、多くの人が水を汲みにやって来ます。

古くからこの地域に住んでいる人も多く、地域の方々は、学校の教育活動に対して大変協力的で、地域行事等もさかんに学校で行われています。

明治

5. 11 旧尾張藩邸跡に、伏見第二校として開校する。
9. 2 第三大学区第六中学区伏見板橋校と改める。
9. 12 右大臣岩倉具視、本校を巡視される。
10. 2 天皇、大和御行幸の折、本校にてご休息される。
15. 11 校名を伏見板橋小学校と改める。
20. 7 伏見板橋尋常小学校と改める。
22. 7 町制の実施により、伏見町第一尋常小学校と改める。
29. 2 校内に板橋幼稚園を設置する。
36. 4 学区制により、344名の児童は新設の第三尋常小学校(現伏見住吉小学校)に移る。
42. 11 第1回運動会を開く。
43. 3 初めて、伊勢へ修学旅行を行う。



大正

7. 4 高等小学科を置き、伏見第一尋常高等小学校と改める。
9. 4 伏見第一尋常小学校と改める。
10. 11 創立50周年記念式を行う。(23学級 1361名)



昭和

4. 5 伏見市となり、伏見尋常小学校と改める。
6. 4 伏見市の京都市編入により、京都市伏見第一尋常小学校と改める。
7. 11 創立60周年記念式を行う。(30学級 1587名)
第一校歌「尾張御殿のその跡に…」ができる。
明治天皇御駐蹕碑ができる。
9. 9 室戸台風襲来。(瓦7,000枚 ガラス300枚が破損し、校舎が傾斜する。)
16. 4 伏見板橋国民学校と改める。
19. 給食始まる。
22. 4 京都市立伏見板橋小学校と改める。
育友会発足する。
24. 2 学校図書館が設置される。
33. 5 育成学級が設置される。
47. 11 創立100周年記念式を行う。(26学級 981名)



平成

- 2. 1 「板橋白菊の井戸」が完成する。
- 2. 7 北校舎が完成し、記念事業を行う。
- 4. 7 新しいプールが完成し、プール開きを行う。
- 6. 10 「クボガキ」が京都市学校名木百選に選ばれる。
- 7. 10 「クスノキ」が京都市学校名木百選に選ばれる。
- 13. 4 学校評議員制度を導入する。
- 14. 11 創立130周年記念式を行う。第1校歌、第2校歌の併用を決定する。
記念事業 郷土資料室「いたはしくら」開設 (17学級 499名)
- 17. 10 第57回京都市教育功労者表彰(学校賞)受賞。
- 18. 2 学校運営協議会設置。
- 21. 7 「土曜学習」開始
- 24. 11 創立140周年記念式典を行う。(20学級 504名)
- 30. 9 台風21号の暴風雨により、創立以前より本校を見守ってきた「クボガキ」倒れる。

令和

- 元. 11 国立教育研究所「平成30・31年度教育課程研究指定校事業(校種間連携)」を受け、学校図書館を活用した授業に伏見中学校ブロックで取り組み、京都市より「教育実践功績表彰」を受賞。
- 2 3 新型コロナ感染拡大防止のため、臨時休校。
- 2 4 新年度より2か月間、臨時休校。
- 6 分散登校
- 2 11 学校運営協議会が、第72回教育功労者表彰を受賞。
(令和2年4月1日現在 19学級 559名)